



会報

ながの

第63号

令和4年7月15日

デザイン池田満寿夫

公益財団法人 長野県長寿社会開発センター長野地区賛助会 発行人 丸山 栄洋 編集長 湊谷 貞春
 〒380-0936 長野市大字中御所字岡田98-1 長野保健福祉事務所内 TEL 026-228-7023 FAX 026-223-7669
 6月末現在賛助会員数 長野地区 379人 全県 1,595人

コールスマイル合唱グループ 日本生命財団「生き生きシニア活動顕彰」受賞 **3面**

令和4年度定期総会開催 長野地区賛助会

若葉眩しい5月12日(木)長野市合同庁舎別館2階会議室において、賛助会役員と各グループを代表する幹事19名、来賓2名、長野県長寿社会開発センター本部及び長野支部より5名を迎えて、令和4年度長野地区賛助会定期総会を開催。

前荒井公賛助会会長の開会あいさつに続いて長瀬有紀長野保健福祉事

務所長、宮村泰之長野県長寿社会開発センター常務理事の祝辞に続いて、議長に花岡佳市氏(シニア38書道)が選出され議事進行がなされた。前年度の事業報告、会計報告及び会計監査報告を決議。令和4年度事業案予算案を議決し新年度役員を選出、満場一致で承認した。

議事

第一号(案) 令和3年度事業報告、

決算報告及び監査報告。

第二号(案) 令和4年度事業計画、

収支予算

第三号(案) 役員選出の承認

第四号(案) その他

新会長挨拶

会長就任にあたって

会長 丸山 栄洋



今年度定期総会において会長に選任されました。素より浅学非才の私には、この重責を全うすることは誠に心配であります。健康なうちは残存する機能を、十分に使い果たす覚悟で努めたいと思います。近年、人生100年時代を迎え、長寿を慶ぶ反面、医療、年金、介護などの問題が懸念されています。こうし

た中、健康づくり、仲間づくりや生きがいを求めて「豊かで活力ある長寿社会づくり」に参加する賛助会員の活動は有意義であり重要であります。さて、この長野地区賛助会にはこの活動グループがあります。しかし、高齢化による会員の減少や解散するグループがあります。さらには、新型コロナウイルス感染症の拡大で活動が困難となるグループも幾つかあります。また、新規加入者の確保など難しい課題を抱えているのが現状であります。本年もグループ活動の成果発表の場として「賛助会員の集い」シニアフェスタの開催をはじめ、講演会などの研修会、会員相互の親睦を図る「スポーツ交流大会」を開催。重点課題となっている新規加入者の促進を図るため、「シニア大生に対する賛助会入会説明会」を行うこととしています。これら事業の執行には、シニア大生の参加が賛助会活動の理解を深めるためにも重要と考え、大学の授業と共催しながら進めて参ります。

人生100年時代にマッチした「健康豊かな長寿社会づくり」を目指して、新しい役員の方々と賛助会の皆さんにご協力いただき、会の運営に取り組んで参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

令和3年度 収支決算書			
	収入合計	353,698	円
	支出合計	209,238	円
	差引残高	144,460	円 通帳124,086円 現金20,374円
(収入の部)			(単位 円)
科目	本年度予算額	決算額	増減
センター交付金	213,000	211,900	△1,100
雑収入	0	1	1
前期繰越金	141,797	141,797	0
合計	354,797	353,698	△1,099
(支出の部)			
科目	本年度予算額	決算額	増減
総会	10,000	0	△10,000
幹事会	70,000	36,475	△33,525
賛助会の集い	160,000	129,200	△30,800
夏休み子ども教室	10,000	0	△10,000
親睦交流会	10,000	0	△10,000
会員加入促進	5,000	0	△5,000
地区賛助会報	65,000	43,563	△21,437
予備費	24,797	0	△24,797
合計	354,797	209,238	△145,559
監査報告			
監査の結果現金通帳、諸帳簿、証拠書類適正に処理されていることを認めます。			
			令和4年4月11日
監事		原 敏昭	

令和3年度収支決算書 & 令和4年度収支予算書

令和4年度 収支予算書			
	収入合計	317,000	円
	支出合計	317,000	円
	差引残高	0	円
(収入の部)			(単位 円)
科目	前年度予算額	本年度予算額	増減
センター交付金	213,000	172,000	△41,000
雑収入	0	540	540
前期繰越金	141,797	144,460	2,663
合計	354,797	317,000	△37,797
(支出の部)			
科目	前年度予算額	本年度予算額	増減
総会	10,000	10,000	0
幹事会	70,000	70,000	0
賛助会の集い	160,000	130,000	△30,000
夏休み子ども教室	10,000	10,000	0
親睦交流会	10,000	10,000	0
会員加入促進	5,000	5,000	0
地区賛助会報	65,000	60,000	△5,000
予備費	24,797	22,000	△2,797
合計	354,797	317,000	△37,797

令和4年度

長野地区賛助会役員

賛助会定期総会で承認

編集委員長 編集委員 花岡佳市 (シニア38書道)	監事 丸山豊 (吟和会) 原敏昭 (コールスマイル)	事務長 金子璋 (ふれあい長野ビデオクラブ)	副会長 河内繁 (川柳「りんどう会」) 渡辺順子 (スマイル・リフレ)
---------------------------------	----------------------------------	---------------------------	---

顧問
荒井公 (さつき会)
丸山栄洋 (いきいき21)

事業検討委員会
松田栄太郎 (漢詩会)
石井惇子 (和紙ちぎり松「あじさいの会」)
黒岩三智 (木つつき会)
小林鐵也 (シニア太極拳部)
浅岡俊安 (コール・フォーエバー混声合唱団)

任期は全て2年

以上の役員にて賛助会を運営してまいります。会員皆様の協力おねがいます。

長野地区賛助会年間事業計画

4月27日	シニア大学入学式
5月12日	長野地区賛助会定期総会
6月23日	親睦スポーツ交流会
7月～8月	夏休みこども教室
9月17日	信州ねんりんピック オンライン交流会
22日-25日	信州ねんりんピック(飯田市)
10月21日	賛助会員の集い
10月22日	信州ねんりんピック・ スポーツ交流大会
12月6日	シニア大学生賛助会入会説明会
2月15日	シニア大学卒業式

日本生命財団「生き生きシニア顕彰」

良 笑顔良 人生

コールスマイル混声合唱団

成果の発表の場

高齢者が取り組む地域貢献活動を称える日本生命財団の「生き生きシニア活動顕彰」にコールスマイル混声合唱グループが選ばれた。

平成27年度シニア大学長野学部卒業生で結成し、先生2人と会員40名で月2回のレッスンをを行い、歌を通じてお互いが和を保ち絆を深めていると、グループ長の原敏昭さん。

長野地区賛助会の集い「グループ活動」発表会・ねんりんピック、長野コーラスフェス、須高「合唱祭」や地域の文化祭、福祉施設訪問などの場で日頃のレッスンの成果を発揮することが楽しみです。

ボランティア活動

長野市を中心に毎年中山間地(飯綱霊泉寺、小川村、鬼無里、大岡、生坂村等)を訪れ地域の皆さんと会話や歌で輪を広げコミュニケーションを大切にしながら、地域の歴史や食文化にふれ世代間の交流活動にも力をいれている。

コーラスで集う

7年前東日本大震災を機に陸前高田市の被災者「まつぼっくりの会」との交流が始まり、陸前高田の市民芸術祭に参加させてもらいました。同じ世代が歌を通じて集い、親睦を図りながら今も絆を深めています。

左より2人目 赤沼啓子さん、白田澄子さん



シャラの花 (夏椿)



長野市芸術館リサイタルホール



長野県シニア大学長野学部

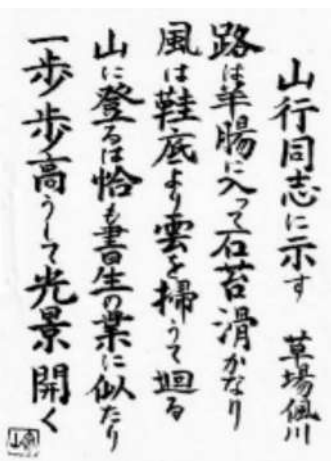
令和4年度入学式

シニア世代の学習と交流の機会を提供する「長野県シニア大学長野学部」の入学式が4月27日、長野市芸術館で挙行されました。一般コース50名、専門コース21名が式に臨み、心新たに学生生活をスタートしました。新入生を代表してあいさつした鹿熊翼氏は、「これまでの人生の経験や知識をもとに、シニア大学で実践的な教養を身に付け、多様で生き生きとした生活をしていきたい」と抱負を述べました。

山行同志に示す

入学生へのエール

前長野地区賛助会長 荒井 公氏



山路は曲がりくねって風は草鞋の下から雲を掃くように吹き、上がれば上がるほど見事な景色が見えてくる。山に登るのは書生の学問修行と同じで、一歩高いところに登るにつれて、新しい視界が開けてくる。

学問をすればするほど視野が開けより高度な世界に入る事ができる。充実した学生生活を送り、地域づくりの中核となることを願っています。

シリーズ

8 グループ活動紹介

笑顔と元気をいただける日へ

目標こそが意識の高揚とレベルアップに！



オカリナクラブ

グループ長 小池 邦武

オカリナクラブは、シニア大卒38期生（平成28年度卒業）が中心となり結成6年目を迎えました。

当初は、オカリナを見るのも、触るのも初めての会員同士が、市販のオカリナをまとめ買いし、「60の手習い」と手探りで取り組んできたことを思い出されます。



月2回の練習が楽しみ

癒しの音色に憧れ、持ち運びに便利、10本指を使い、呼吸法と健康にと、始めたオカリナ。実際にやってみると指は動かない、息切れはする、譜面は見えにくい、曲は覚えられない等で今でも奮闘しています。しかし、現在まで続けられたのは仲間同士の繋がりと、ボランティア活動で皆さんから笑顔と元気をもらえたからです。

近年は、多少レベルがアップしたのか？ 会員のオカリナは2本目（初心者用から手造りで、音域の幅が広く音感の良いもの）に買い替えて、納得の音色に会員は満足顔です。今でも、毎月、第2・第4火曜日の午後1時から2時間、先生のレッスンを受けておりますが、ここ3年くらいは新型コロナウイルスの影響で会場の確保が難しく、思うように活動ができていません。

通常なら「施設」や地域の「お茶のみサロン」等から、演奏ボランティアの依頼があり、笑顔と元気をいただいていたのですが、それもコロナの影響で叶わず、活動停止の影響は会

員の意欲低下につながらないか心配です。

コロナが早く収束し今までの日常生活が戻り、以前のように人との繋がりが自由に出来て、オカリナのレッスンも次の目標に向かって、熱が入るような日々を願わずにいられます。

親睦スポーツ交流会

長野地区賛助会

賛助会員の集うマレットゴルフ大会を6月23日(木)犀川第二マレット場で開催。この大会はスポーツを通じて賛助会員の親睦を深めるのが目的です。



マレットゴルフ大会 始球式

本日の大会オーナーは賛助会員

「しらかば会」会長の木次哲彦氏。

会長の参加者組み分け発表に続いて、賛助会会長丸山栄洋氏の「健康維持と親睦を図りながらマレットゴルフを楽しんでください」の開会あいさつでスタート。

南澤憲子さん(シニア大学生)しらかば会所属の始球式で、参加者4組14人18ホールを回りました。参加した人たちは、互いのプレーを褒めたりアドバイスを送ったりしながら「いいよね、いっぱい打って楽しんで、上手になる」「今日はだめだね、年のせいか足が痛くてね」と和気あいあいと楽しんでいました。

真夏日の暑い中お疲れ様、成績発表、栄えある一位深澤富子さん、二位佐藤芳子さん、三位小田切徹也さん、ラッキー7伊藤令子さん。特別参加はシニア活動推進コーディネーター斎藤むつみさんお疲れ様。

☆編集後記☆

令和4年度賛助会活動がスタートし、編集委員として初めての『会報ながの』第63号を発行することができました。昨年度からの引継ぎ後、不安一杯でスタートしました。皆様にはご迷惑をおかけすることもありますが、編集者一同頑張っています。